

令和8年  
2026年

4月7日  
火曜日

第11925号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料 (前納)  
年間 82,080円  
(税込み)  
6カ月 42,120円  
(税込み)

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



日本ハムの前田新社長が就任会見……P2

▶ 「攻める経営を推し進める」日本ハムの前田新社長が就任会見①…………… P2

▶ [畜産物卸売価格・3月] 和牛去勢A4価格は前年同期比184円高…………… P2~3

▶ 全肉連が国産食肉と食料の未来を考える、食育「パラパラ漫画動画」公開…………… P3

▶ プリマハム、「香薫キャンペーン」を実施 P3

▶ 淀屋橋にITを活用した食の拠点「ヨドヤバ」誕生、4店舗「シェア型運営」で人手不足に挑む…………… P4~5

▶ 平和堂の26年2月期決算、営業収益は過去最高の4560億円、滋賀の「深掘り」と東海圏の「攻勢」で持続的成長へ…………… P5

▶ 節約アプリ「レシチャレ」、オージー・ラム購入でポイント…………… P6

▶ [機構改革] サミット、横浜プロセスセンター新設…………… P6

▶ WALAKAS設立、焼き肉運営のISSEIとグッドネスフーズが合併…………… P6

▶ EU、豪州とFTAで大筋合意②豪州産牛肉や砂糖に新たな関税割当…………… P7

▶ [資料] 2026年2月分の食肉輸入通関実績⑥…………… P8

▶ [資料] 畜産物卸売価格の推移…………… P9

▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]6日…………… P10

▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]6日…………… P11

## 注目のヘッドライン

### 「攻める経営を推し進める」日本ハムの前田新社長が就任会見①

日本ハムは6日、大阪市北区の本社で前田文男代表取締役社長の就任会見を行った

…詳細はP2

### [畜産物卸売価格・3月] 和牛去勢A4価格は前年同期比184円高

…詳細はP2~3



Nipponham Group  
たんぱく質を、もっと自由に。

食肉施設の設計・施工・コンサルタント

— 食肉業界をリードする —



〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5  
☎03-3834-1561(代) <https://hanaki-eng.co.jp/>

## 「攻める経営を推し進める」日本ハムの前田新社長が就任会見①

日本ハムは6日、大阪市北区の本社で前田文男代表取締役社長の就任会見を行った。会見冒頭、前田新社長は次のようにあいさつを述べた。

当社は歴史と伝統のある企業であり、これをしっかり受け継ぎながら新しい会社をつくっていきたくと考えている。企業理念である「食べる喜び」を通して社会に貢献すること、従業員が自己実現できる企業であり続けること、これを常に意識しながら取り組んでいきたい。

私は1988年に日本ハムに入社し、勤務地は九州から北海道まで、グループ企業への出向も経験してきた。食肉事業、加工事業、コーポレート部門など複数の部署を経験したが、これが現在の自分につながっていると考えている。これらの経験によってさまざまな問題に対応できるため、今後に生かしていきたい。また、厳しい事業環境になっているため、会社のかじ取りをする中で、新たな挑戦ばかりでなく問題が生じた際のダメージを測ることができる人間でもありたい。

昨今では中東紛争によって原油が価格高騰、あるいは手に入らないという状況において、世界的なインフレから、畜産では鶏肉に需要がシフトしている。日本国内では人口減少、市場縮小、労働力不足などの問題が2040年には露見してくると想定している。組織の持続的な成長に向けて、柔軟に対応して戦い抜くことが必要だと考えている。

ニッポンハムグループには強い力がある。加工事業本部では主要ブランドであるシャウエッセンが好調に推移している。食肉事業本部では生産・処理・物流・販売という強固なバリューチェーンを持つ。これらにボールパークを中心としたスポーツ・エンタメを含めた三つの事業が、他社にまねのできない当社の唯一無二の強みだと思っている。「このような企業が競争



に負けることがあってはならない」という強い意志を持って臨んでいきたい。

本年度は中期経営計画2026の最終年度となる。井川前社長は成長戦略、構造改革、成長する組織風土改革の三位一体を進めてきた。これには私自身、何ら異論はなく、これからも継続していく。しかしながら、成長や攻めの部分には満足しておらず、新しい未来を切り開いていきたい。最終年度とはいいいながら、すでに最終年度目標を前期で達成する見込みだ。5月の決算発表では、中計最終年度として、環境を踏まえても納得できる計画内容をお話しできると思う。

先般、当社の方針発表会で社員に向けて「三位一体の継続」「唯一無二の企業が負けるわけがない」という話をさせていただいた。「やろうと思えばできないことはない」とは、当社の創業者である大社義規氏の言葉だが、これをしっかりと意識しながら「全員で挑戦しよう」というスローガンを掲げ、今期、さらには来年から始まる中期経営計画2029に向けて地盤固めをしっかりと行っていきたい。厳しい外部環境ではあるが、だからこそ自分たちで逆境を打破する。それができるのがニッポンハムグループだと考えている。(連載続く)

## 【畜産物卸売価格・3月】和牛去勢A4価格は前年同期比 184円高

農水省食肉鶏卵課がまとめた3月の畜産物卸売価格の推移(9面参照)によると、豚の全国と畜頭数(速報値)は138万9千頭(前年同月比2・7%増)となった。豚肉「極上」「上」の価格は東京が677

円(62円高)。成牛のと畜頭数は8万8430頭(0・3%減)となり、東京では和牛去勢A4価格が2449円(184円高)、交雑牛B3が1666円(164円高)、乳用種去勢B2が1313円(182円高)となった。

[豚] 全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が6万3743頭(12・8%増)、中旬が5万3811頭(4・9%減)、下旬が6万5500頭(13・9%増)。東京の価格は上旬が633円(20円高)、中旬が685円(64円高)、下旬が708円(96円高)となった。

[牛] 全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が4400頭(29・5%増)、中旬が3403頭(15・2%

減)、下旬が3857頭(26・8%増)。東京の和牛去勢A4価格は上旬が2460円(132円高)、中旬が2438円(185円高)、下旬が2451円(248円高)となり、交雑牛去勢B3価格は上旬が1654円(142円高)、中旬が1651円(161円高)、下旬が1698円(186円高)となった。

## 全肉連が国産食肉と食料の未来を考える、食育「パラパラ漫画動画」公開

全国食肉事業協同組合連合会(村上幸春会長)は、令和7年度国産食肉理解促進食育実践事業の一環として、パラパラ漫画動画「お肉ってどこから来てるの?～国産食肉と食料の未来を考える～」を制作した。

国産食肉自給率、国産食肉の重要性を、イラスト&動画を組み合わせた「パラパラ漫画動画」の3分40秒の短時間で分かりやすく説明している。都市化の進展などから国民の食卓と生産現場の距離がどんどん遠くなってきている。とりわけ、国産食肉は生産現場が遠隔地化していることや防疫上の措置、さらには消費者の手に届くまでに姿、形が大きく変わって提供され、他の農水産物以上に「顔が見えない、見えづらい」食材となっている。こうしたことから、本動画で

は、家族の食卓のシーンを通して、お肉が食卓に届くまでに多くの人々が関わっていることや、国産のお肉を選択していただくことの重要性などを、親子が会話しながら「いただきます」から「ごちそうさま」までの間でビジュアルかつ簡潔に伝えることで、生産現場への理解を深める内容となっている。学校での授業や食育イベントなどでも自由に利用できる。

全肉連のYouTubeチャンネルで公開中。  
(<https://youtu.be/MXFNEtlAxx4?si=9AMuUXuQfmFBPIqe>)

動画はお肉の食育サイト「おにくらぶ(<https://www.ajmic.or.jp/oniclub/>)」でも閲覧できる。



## プリマハム、「香薫キャンペーン」を実施

プリマハムは、同社ブランドの香薫シリーズキャンペーンを実施する。同ブランドは、今年で発売24年を迎え、5月9日は香薫の日。この日にちなんで、期間中対象商品の購入者に、抽選で景品をプレゼントする。

景品はA賞「JCBギフトカード1万円分または、PayPayポイント1万円分」、B賞「香薫シリーズ詰め合せ」(合計1180人。

A賞590人、B賞590人)の二つ。対象商品は、香薫あらびきポークウインナー各種、香薫あらびきステーキ、香薫あらびきミニステーキ。A賞は対象商品購入金額税込み500円以上、B賞は税込み300円以上のレシートを貼り付けたはがきで応募が可能。LINEか

5/9は香薫の日ですー!

香薫キャンペーン

レシート有効期間:2026年4月1日~5月31日  
応募締切:2026年6月3日(水) ※毎日消印有効  
LINE応募締め:2026年6月3日(水) 23時59分まで

※応募方法: LINE(レシート撮影応募)またはハガキ応募(レシート貼付)  
※対象商品: 香薫あらびきポークウインナー各種 / 香薫あらびきステーキ / 香薫あらびきミニステーキ

【A賞】  
10,000円分を590名様  
JCBギフトカード  
または  
PayPayポイント

【B賞】  
香薫シリーズ詰め合せを  
590名様

対象商品ご購入金額500円(税込み)以上のレシートで応募

対象商品ご購入金額300円(税込み)以上のレシートで応募

詳しくは、店頭備え付けの専用応募はがきまたはプリマハムホームページをご覧ください。

LINEからの応募はこちら  
LINE公式アカウントから応募は、アプリ/PC/LINE公式アカウントのいずれかから可能です。

※キャンペーンサイトはこちら

らの応募も可能となっている。期間は4月1日から5月31日まで。応募締切は当日消印有効の6月3日までで、LINE応募締切は6月3日の23時59分までとなっている。

## 淀屋橋にITを活用した食の拠点「ヨドヤバ」誕生 4店舗「シェア型運営」で人手不足に挑む

大阪市のビジネス街として知られる淀屋橋に、新たな食のランドモール「ヨドヤバ」が誕生した。京阪電車およびOsaka Metro御堂筋線「淀屋橋」駅直結の好立地に、ジャンルの異なる四つの個性豊かな飲食店が集結。単なる飲食施設の枠を超え、IT技術の活用と店舗間の垣根を越えた「共同運営モデル」を導入することで、外食産業が直面する人手不足問題への新たな解を提示している。

かつては夜になると人影がまばらになる印象の強かった淀屋橋。開発を手掛けた関係者は「コロナ禍を経て静まり返ったビジネス街に、再びにぎわいを取り戻したい」と語る。その核となるのが、食と人が交差する「ヨドヤバ」だ。

同施設は「淀屋橋で見つけた、新しい“集まる理由”」をコンセプトに掲げる。一つの空間に、串カツ、焼き鳥、イタリアン、海鮮という、日常使いから特別な一杯まで対応可能な4店舗が軒を連ねる。「ヨドヤバ」を構成するのは、いずれも実力派の4ブランド。

▷串カツとワイン「揚八(あげは)」は「揚げ物ほもっと軽くていい」を掲げ、独自のブレンド油とパン粉であげは蝶のような軽い食感を実現。昼は奈良県産「大和ポーク」のトンカツ、夜は月替わりの限定串とワインを提案し、大人の夜を演出する▷炭火焼き鳥「とり五楼(とりごろう)」は鳥取県産「大山どり」を使用。昼は香ばしい炭火焼やチキン南蛮でビジネスマンの胃袋を満たし、夜は本格的な焼き鳥に鶏出汁おでんと日本酒を合わせる「日常使いの鶏酒場」として機能する▷生ハム・生がき・生ビール「バックカーノ」は自社醸造のクラフトビールを提供するイタリアン。極限まで薄く削った生ハムと、全国から届く新鮮なかきが看板メニューだ。ビール製造会社を母体とする強みを生かし、料理との完璧なペアリングを追求している▷海鮮角打ち「しらすくじら」は博多の名店「磯貝」の流れを汲み、福岡魚市場から直送される鮮魚をリーズナブルに提供。ランチの海鮮丼から夜の刺し身、天ぷらまで、博多の活気と魚のうまさを淀屋橋に届ける。

また、「ヨドヤバ」の革新性は、その運営システムにある。全体のプロデュースを手掛けるのは、IT・アプ



リ開発を本業とする(株)ホットファクトリー(早田泰三社長)だ。同社が導入したのは、調理以外の業務を切り離す「シェア型運営」である。具体的には、ホールサービス、予約管理、レジ業務、ドリンク提供、洗い場といった業務を別会社が集約して担当する。これにより、各店舗の職人は「料理」にのみ専念できる環境が整った。

「現在、飲食業界では時給を上げてても人が集まらない『無理ゲー』に近い状態が続いている」と(株)ホットファクトリーの早田社長は指摘する。従来、15坪程度の小規模店を四つ出すには、それぞれに店長と料理長が必要だったが、ヨドヤバのモデルではホールスタッフを共通化し、キャッシュレス決済を徹底することで、最小限の人員で円滑な運営を可能にした。また、デベロッパー主導の従来のフードコートとは異なり、テナント同士が密に連携し、メニューやイベントを柔軟に変更できる点も特徴だ。「ここは一つの試験場。成功事例を自社の他店舗へ持ち帰ることも目的」としており、常に進化し続ける仕組みを構築している。

ビルを管理する京阪流通システムズの担当者は「淀屋橋の玄関口にふさわしい、にぎわいの中心にな

ることを期待している」と述べる。完全キャッシュレス化による不正防止やデータ活用、テラス席でのイベント開催など、デジタルとリアルを融合させた新しい試みは、今後の都市型商業施設の在り方に一石を投じることになりそうだ。

[店舗情報] 施設名:ヨドヤバ、所在地: 大阪市中央区北浜3-6-22 淀屋橋ステーションワン1階、アクセス: 京阪・Osaka Metro「淀屋橋」駅直結、営業時間: ランチ 11時30分～15時、ディナー 17～23時、定休日: なし、決済方法: 完全キャッシュレス

## 平和堂の26年2月期決算、営業収益は過去最高の4560億円 滋賀の「深掘り」と東海圏の「攻勢」で持続的成長へ

平和堂は2日、2026年2月期(25年度)連結決算を発表した。消費者の節約志向とこだわり消費という「二極化」が進む中、既存店の活性化と徹底した運営管理が奏功し、営業収益は前期比2・5%増の4560億1千万円、営業利益は133億1300万円(0・4%減)、経常利益146億500万円(0・2%減)、当期純利益94億900万円(12・3%減)と増収減益での着地となった。決算説明会に登壇した平松正嗣社長(写真)は、今期の総括として「既存店の堅調な推移」を挙げた。既存店売上高は前期比102・7%と伸長。特に主力の食品部門が103・6%と全体をけん引した。物価高騰に伴う商品価格の上昇に加え、同社が中期経営計画で掲げる「30～40代のファミリー層獲得」に向けた「大容量商品」の拡充が客単価を押し上げた。

一方で、競合他社との価格競争に対しては、生活必需品を中心に戦略的な低価格設定を維持。平松社長は「一時期、粗利率を下げ過ぎて売り上げを追う傾向があったが、この1年は粗利コントロールと売り上げのバランスを適正化させた」と述べ、収益構造の改善に自信をのぞかせた。

地域戦略においては、圧倒的なシェアを誇るホームグラウンド・滋賀県での「ドミナント戦略」の再構築が目立つ。同県内では老朽店舗の建て替えや、シェアの低い「空白地帯」へのピンポイント出店を加速。さらに、移動販売や自動販売機事業、買い物代行サービス「ホームサポート」を組み合わせ、地域インフラとしての機能を強化している。対照的に、拡大余地のある東海圏(愛知・岐阜など)では、食品特化型の「アル・プラザ フーズマーケット」を主軸に据える。総合スーパー(GMS)としての認知が低いエリアにおいて、生鮮食品の強みを打ち出した中規模店舗を展開することで、効率的なシェア拡大を狙う方針



だ。

次世代戦略として注目されるのが、データ活用の高度化と金融事業の強化だ。同社は膨大な購買データを分析し、顧客一人ひとりに最適化した「ワントゥワン・マーケティング」を本格化させている。AIを用いた離脱予兆分析により、来店頻度が下がった顧客へピンポイントでクーポンを配信するなど、顧客の囲い込みを徹底する。また、三菱UFJ銀行との提携による「HOPBANK」も始動。決済機能にとどまらず、顧客の「家計全体」に深く入り込むことで、平和堂経済圏の確立を目指す。

来期(2027年2月期)の連結業績予想について、同社は営業収益4780億円、営業利益143億円と、さらなる増収増益を見込む。物流費、人件費の上昇、さらに中東情勢の緊迫化によるエネルギー価格の再高騰など、外部環境は厳しさを増している。

これに対し、同社は258億円という高水準の設備投資を計画。IT・セキュリティーの強化や、稼働が好調なデリカセンターのさらなる効率化、そして新店2店舗の開設に充てる。

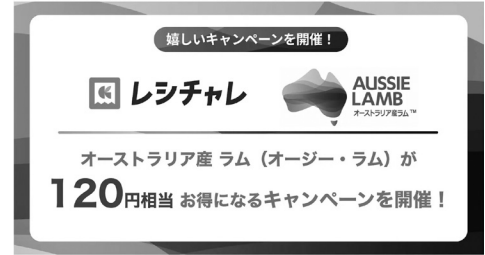
平松社長は「当たり前店舗メンテナンスを徹底し、お客さまに選ばれる店作りを愚直に進める」と締めくり、製造小売業としての進化と地域密着の深化を両立させる姿勢を鮮明にした。

## 節約アプリ「レシチャレ」、オージー・ラム購入でポイント

クラシル(株)は、4月1日から5月31日までの期間、節約アプリ「レシチャレ」で「オーストラリア産ラム(オージー・ラム)」を税抜き500円以上購入したユーザーを対象に、120円相当のポイントが付与するキャンペーンを実施する。期間中に対象商品を店頭で購入し、レシートと商品と一緒に撮影しアプリにアップロードすると、120円相当のポイントがプレゼントされる。

対象商品はオーストラリア産ラム、豪州産ラム肉、オージー・ラム。対象ロゴマークがなくとも、オーストラリア産であれば対象商品となる。オーストラリア産

肉以外が混ざっているもの、ラムチョップなどの加工済み商品は対象外となる。



「レシチャレ」は、移動する・チラシをみる・レシートをアップするだけでポイントが貯まるお得なアプリ。1日当たり5回までの応募が可能となっている。

## 【機構改革】 サミット、横浜プロセスセンター新設

サミットは4月から、ブランディングの推進および店舗運営体制の構築を目的に機構改革を行った。

ブランディング推進体制を明確にするため「広報部」の配下に「広報グループ」と「ブランド価値共創グループ」を配置する。また、部の名称を「広報・ブランド価値共創部」に変更する。2025年5月から開始している「ブランディング推進プロジェクト」の名称を変更し、活動期限は27年3月までとする。

新たな店舗運営体制構築の推進体制を明確にするため、未来を見据えた店舗運営を検討・実験する

プロジェクトを新設する。プロセスセンター推進室に新たな分掌業務を加え、部として新設する。

「共育」と「多様性」の推進について再整理し、役割を明確にするため、「人財・組織開発部」配下の「共育推進・採用グループ」と「多様性推進グループ」をそれぞれ独立させて、「共育推進・人財採用部」および「多様人財サポート室」とする。「人財・組織開発部」は廃止する。

その他、精肉部下に「横浜プロセスセンター」を新設する。「滝野川研修室」は閉鎖に伴い廃止する。

## WALAKAS 設立、焼き肉運営の ISSEI とグッドネスフーズが合併

焼き肉業態を中心とする飲食店の運営・プロデュースを行う(株)WALAKAS(東京都墨田区、浅田一世代表)は4月から事業をスタートした。

創業20周年を機に、(株)ISSEIと(有)グッドネスフーズの合併により新たに設立された。厚切り肉と活気ある居酒屋風の雰囲気FC展開を強力に推進し、セントラルキッチンによる職人いらずのオペレーションを確立してきた「焼肉ここから」(旧・ISSEI)。和牛一頭買いによる高品質なA5ランク肉と手打ち冷麺を武器に都内で確固たるブランドを築いてきた「和牛一頭

焼肉 房家」(旧・グッドネスフーズ)。2020年からのグループ経営統合を経て、近年の物価高や人手不足といった飲食業界の環境変化に対応し、多店舗展開の再現性向上や本部機能・物流の強化を図るため、正式に合併・新会社を設立した。

「両社のノウハウを融合させることで、都心型から郊外ロードサイド型までの幅広い展開と、AIを活用したコスト削減など次世代を見据えた成長モデルを構築する」としている。

## EU、豪州と FTA で大筋合意②豪州産牛肉や砂糖に新たな関税割当

欧州委員会は3月24日、豪州と自由貿易協定(FTA)締結で合意したと公表した。これにより、豪州向け輸出に対する関税の99%以上が撤廃される。欧州委員会は、年間約10億ユーロ(1849億円、1ユーロ=184・91円、3月末TTS相場)の関税負担削減に寄与し、今後10年間で豪州向け輸出が最大33%増加すると見込んでいる。EUは、地政学的な不確実性が高まる中、経済安保の強化やサプライチェーンの多角化を図るためFTA締結を積極的に推進しており、25年9月にはインドネシアと、26年1月にはインドとFTA締結で合意している。

豪州向け輸出については、チーズの関税(現行は1kg当たり1・220豪ドル)が撤廃される。EUの豪州向けチーズ輸出量は25年に2万8千tとなっており、関税撤廃により約2千万ユーロ(約37億円)の関税負担が削減されると見込まれる。また、トマト缶など調製食料品についても関税が撤廃される。このほか、165の農産物・食品および231のアルコール飲料の地理的表示(GI)が保護されるとしている。

豪州からの輸入については、牛肉、羊・山羊肉、一部の乳製品、砂糖、米などをセンシティブ品目として、関税割当を設定する。

牛肉については、新たに合計3万600t(枝肉重量ベース)の二つの関税割当が設定される。一つは牧草肥育牛肉に限定され、割当数量は1万6830t(全体の55%)、枠内税率は無税である。もう一つの割当数量は、1万3770t(条件なし、全体の45%)、枠内税率は7・5%である。これら割当数量は10年間で段階的に導入され、発効時の割当数量は3分の1とし、5年間は据え置きとなる。25年の豪州からの牛肉輸入量は7200t(部分肉ベース)となっており、最終的な割当数量は現行輸入量の約3倍の水準となる。

乳製品については、脱脂粉乳8千t、バター5千t、タンパク質濃縮ホエイなど2千tの関税割当(枠内無税)を設定する。なお、25年の豪州からのチーズ以外の乳製品輸入量は290tとわずかであり、割当数量は現行輸入量を大幅に上回る水準となっている。

砂糖については3万5千tの精製原料

用粗糖の関税割当(枠内無税)を新設し、発効時の割当数量は2分の1とし、2年間は据え置きとなる。また、でんぷん誘導体について、新たに1千tの関税割当を設定する。豪州からの粗糖およびでんぷん誘導体の輸入実績はほとんどない。

この他、①輸入品の気候、環境、アニマルウェルフェアに関するEU基準への適合の確保②豪州からの輸入が急増した際のセーフガード措置が設けられる。ただし、この内容の詳細については、3月24日時点では明らかにされていない。

EU側では、今後合意文書の公表を経て、署名、批准に向けたEU理事会と欧州議会での承認プロセスが進められる。

今回の合意について、EU最大の農業生産者団体のCopa-Cogeca(欧州農業組織委員会・欧州農業協同組合委員会)は、センシティブ品目に対する関税割当の設定は容認できないとし、「中期的に多くの農業部門が持続不可能なものになる」と非難する声明を発出した。同団体は、特に地理的表示の保護や関税割当の運用などの今後示される合意内容の詳細を確認した上で、影響を評価するとしている。一方、Eucolait(欧州乳製品輸出入・販売業者連合)は、今回の合意について「乳製品部門を含むEU産業の競争力と回復力の強化に寄与する」と評価し、早期の発効を望む姿勢を示した。(農畜産業振興機構)

表 EUの関係品目の輸出入量の推移

(単位:トン)

品目	EUJの輸出量			EUJの輸入量		
	2023	2024	2025	2023	2024	2025
牛肉	431,530	479,266	419,656	252,185	273,406	324,245
うち豪州	1	4	13	5,976	6,483	7,248
チーズ	1,385,423	1,386,065	1,422,282	173,682	186,936	199,582
うち豪州	26,932	28,075	28,078	67	79	58
チーズ以外の乳製品	4,169,646	4,080,111	4,248,954	1,012,189	1,042,644	1,150,501
うち豪州	21,251	29,196	26,899	0	1,177	290
調製したトマト	1,293,024	1,429,894	1,383,615	421,829	442,463	356,547
うち豪州	81,706	95,567	90,231	0	0	0
粗糖	5,166	5,648	8,772	1,625,159	751,392	961,414
うち豪州	14	38	35	0	2	0
でんぷん誘導体	477,283	533,809	536,260	85,535	74,373	72,694
うち豪州	8,722	8,532	7,966	1	0	1

資料:GTA

注:対象としたHSコードは次の通り。

牛肉:0201および0202、チーズ:0406、チーズ以外の乳製品:0401から0405まで  
調製したトマト:2002、粗糖:170112から170114まで、でんぷん誘導体:350510

[資料] 2026年2月分の食肉輸入通関実績⑥

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月 CURRENT MONTH		累 計 CUMULATIVE YEAR TO DATE	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

USA	304 KG	-	-	225	782
AUSTRAL	601 KG	666	1508	1566	3599
NEWZELD	606 KG	1159031	1299106	1746839	2004518
TOTAL	990 KG	1322481	1553847	2014001	2435955
(E. U)	991 KG	162784	253233	264971	426624

0405. 10-229 バター(脂肪分が全重量の85%を超えるもの)(その他のもの)

FRANCE	210 KG	865	2699	1112	4017
TOTAL	990 KG	865	2699	1112	4017
(E. U)	991 KG	865	2699	1112	4017

0405. 90-190 ミルクから得たその他の油脂(脂肪分が全重量の85%以下のもの)(その他のもの)

FRANCE	210 KG	212	1000	658	2667
ITALY	220 KG	-	-	172	1009
TOTAL	990 KG	212	1000	830	3676
(E. U)	991 KG	212	1000	830	3676

0405. 90-210 ミルクから得たその他の油脂(脂肪分が全重量の85%を超えるもの)(独立行政法人農畜産業振興機構が畜産経営の安定に関する法律第17条第1項に規定する数量の範囲内で輸入するもの及び同条第2項に規定する農林水産大臣の承認を受けて輸入するもの)

INDIA	123 KG	6992	9409	6992	9409
TOTAL	990 KG	6992	9409	6992	9409

0405. 90-229 ミルクから得たその他の油脂(脂肪分が全重量の85%を超えるもの)(その他のもの)

INDIA	123 KG	-	-	360	441
BANGLA	127 KG	-	-	320	379
NEPAL	131 KG	4800	5405	9529	11142
NETHLD	207 KG	200	430	200	430
BELGIUM	208 KG	-	-	204	788
GERMANY	213 KG	-	-	1200	44283
ITALY	220 KG	-	-	45	506
NEWZELD	606 KG	4000	5946	4000	5946
TOTAL	990 KG	9000	11781	15858	63915
(E. U)	991 KG	200	430	1649	46007

0406. 10-010 フレッシュチーズ(熟成していないもの)及びカード(プロセスチーズの原料として使用するチーズ及びカードのうち、この号のフレッシュチーズ及びカード、第0406.40号のブルーベインドチーズ及びその他のペニシリウム・ロックフォルティにより得られる模様を含むチーズ並びに第0406.90号のその他のチーズについて、当該年度における国内需要見込数量から国内生産見込数量を控除した数量の範囲内において、国内生産見込数量、国際市況その他の条件を勘案して政令で定める数量(共通の限度数量)以内のもの(乾燥固形分が全重量の48%以下のもの(1個の重量が4g以下の細片にし、冷凍し、かつ、正味重量が5kgを超える直接包装にしたもの)を除く。)

DENMARK	204 KG	-	-	4800	4452
AUSTRAL	601 KG	192280	135714	239680	167634
NEWZELD	606 KG	118700	98769	188580	154804
TOTAL	990 KG	310980	234483	433060	326890
(E. U)	991 KG	-	-	4800	4452

0406. 10-020 フレッシュチーズ(熟成していないもの)及びカード(乾燥固形分が全重量の48%以下のもの(1個の重量が4g以下の細片にし、冷凍し、かつ、正味重量が5kgを超える直接包装にしたもの))

USA	304 KG	372296	247719	1023806	694559
-----	--------	--------	--------	---------	--------

(単位: 1,000円、UNIT: ¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月 CURRENT MONTH		累 計 CUMULATIVE YEAR TO DATE	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

NEWZELD	606 KG	64680	48410	107088	80494
TOTAL	990 KG	436976	296129	1130894	775053

0406. 10-090 フレッシュチーズ(熟成していないもの)及びカード(プロセスチーズの原料として使用するチーズ及びカードのうち、この号のフレッシュチーズ及びカード、第0406.40号のブルーベインドチーズ並びに第0406.90号のその他のチーズについて、当該年度における国内需要見込数量から国内生産見込数量を控除した数量の範囲内において、国内生産見込数量、国際市況その他の条件を勘案して政令で定める数量(共通の限度数量)以内のものを除く。)(乾燥固形分が全重量の48%以下のもの(1個の重量が4g以下の細片にし、冷凍し、かつ、正味重量が5kgを超える直接包装にしたもの)を除く。)

DENMARK	204 KG	110848	111757	378573	368400
NETHLD	207 KG	-	-	16764	13836
FRANCE	210 KG	164573	182319	313518	341541
GERMANY	213 KG	-	-	9416	7665
SPAIN	218 KG	14707	15321	15085	16021
ITALY	220 KG	577176	798052	1371569	1946385
AUSTRIA	225 KG	-	-	648	769
HUNGARY	227 KG	3720	4055	10319	11209
GREECE	230 KG	900	1687	900	1687
TURKEY	234 KG	1420	866	10109	9367
CANADA	302 KG	-	-	7041	7531
USA	304 KG	238554	180061	481347	383987
AUSTRAL	601 KG	2269390	1753334	4341463	3331848
NEWZELD	606 KG	578232	397807	1512332	1040875
TOTAL	990 KG	3959520	3445259	8469084	7481121
(E. U)	991 KG	871924	1113191	2116792	2707513

0406. 20-100 おろしチーズ及び粉チーズ(プロセスチーズのもの)

DENMARK	204 KG	117940	151323	190520	232792
USA	304 KG	10000	5974	10000	5974
AUSTRAL	601 KG	-	-	17514	31489
TOTAL	990 KG	127940	157297	218034	270255
(E. U)	991 KG	117940	151323	190520	232792

0406. 20-200 おろしチーズ及び粉チーズ(プロセスチーズ以外のもの)

DENMARK	204 KG	42420	66406	96360	161885
NETHLD	207 KG	1500	3537	1500	3537
ITALY	220 KG	19638	40875	252286	449220
ROMANIA	231 KG	-	-	6451	14383
USA	304 KG	96648	182054	170763	310582
AUSTRAL	601 KG	-	-	146	462
TOTAL	990 KG	160206	292872	527506	940069
(E. U)	991 KG	63558	110818	356597	629025

0406. 30-000 プロセスチーズ(おろしチーズ及び粉チーズを除く。)

NETHLD	207 KG	4981	5717	6919	8104
FRANCE	210 KG	269675	289538	737693	791881
GERMANY	213 KG	123	330	249	669
ITALY	220 KG	-	-	465	2478
POLAND	223 KG	459	607	459	607
USA	304 KG	5715	4778	8980	7530
TOTAL	990 KG	280953	300970	754765	811269
(E. U)	991 KG	275238	296192	745785	803739

0406. 40-090 ブルーベインドチーズ及びその他のペニシリウム・ロックフォルティにより得られる模様を含むチーズ(プロセスチーズの原料として使用するもので、共通の限度数量以外のもの)

DENMARK	204 KG	12015	24312	27037	58441
U KING	205 KG	490	1735	2080	6051
FRANCE	210 KG	7720	20643	12195	33794

(続)

[資料] 畜産物卸売価格の推移

(令和8年3月)

単位：頭数(頭)、価格(円/kg)

	豚肉 極上・上		牛肉			全国と畜 頭数		鶏卵 東 京	鶏肉 東 京	
	東京		東京(加重平均価格)			豚	成牛	(M)	もも	むね
	価格	頭数	和牛 去勢 A 4	交雑 去勢 B 3	乳用種 去勢 B 2					
7年 2月	634	6,214	2,290	1,529	1,109	1,290,095	82,269	315	772	415
7年 3月	615	6,633	2,265	1,502	1,131	1,352,997	88,670	327	767	411
上 旬	613	2,044	2,328	1,512	-	56,514	3,398	320	770	411
中 旬	621	2,130	2,253	1,490	1,170	56,611	4,014	330	766	412
下 旬	612	2,459	2,203	1,512	1,123	57,488	3,042	330	765	411
8年 2月	629	5,366	2,341	1,619	1,289	1,309,123	79,584	313	844	535
8年 3月	677	6,460	2,449	1,666	1,313	1,389,000	88,430	323	843	521
上 旬	633	1,965	2,460	1,654	1,331	63,743	4,400	325	840	524
中 旬	685	2,175	2,438	1,651	1,302	53,811	3,403	324	842	522
下 旬	708	2,320	2,451	1,698	1,327	65,500	3,857	320	846	516
1日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2日(月)	605	269	2,460	1,643	-	65,300	4,650	325	837	529
3日(火)	604	327	2,431	1,638	-	65,700	4,460	325	839	521
4日(水)	631	210	2,464	1,658	1,338	64,600	4,560	325	-	-
5日(木)	625	305	2,481	1,669	1,330	66,300	4,190	325	837	524
6日(金)	656	331	2,464	1,658	-	56,500	3,970	325	832	520
7日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	851	529
8日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9日(月)	644	246	2,470	1,650	-	62,500	4,440	325	839	526
10日(火)	664	277	2,464	1,653	1,326	65,300	4,530	325	844	522
11日(水)	692	168	2,466	1,657	1,327	64,700	4,460	325	-	-
12日(木)	680	307	2,479	1,650	-	66,300	4,000	325	844	526
13日(金)	684	375	2,437	1,628	1,319	63,800	4,170	325	839	522
14日(土)	-	-	-	-	-	300	790	-	841	520
15日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16日(月)	669	334	2,455	1,660	-	66,100	4,700	325	840	520
17日(火)	690	390	2,429	1,669	-	70,500	4,410	325	844	523
18日(水)	704	204	2,396	1,665	-	71,200	3,890	325	-	-
19日(木)	684	397	2,424	1,638	1,290	73,100	4,150	320	843	520
20日(金)	-	-	-	-	-	8,300	60	-	-	-
21日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23日(月)	679	328	2,385	1,663	1,353	67,700	4,300	320	853	520
24日(火)	698	351	2,453	1,690	-	66,200	4,170	320	854	518
25日(水)	707	270	2,460	1,685	-	66,800	3,790	320	-	-
26日(木)	701	387	2,472	1,683	-	65,600	3,560	320	853	520
27日(金)	714	370	2,466	1,736	1,295	64,300	3,440	320	840	517
28日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	855	520
29日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30日(月)	717	286	2,435	1,703	-	65,000	3,980	320	847	517
31日(火)	741	328	2,445	1,716	-	62,900	3,760	320	819	500

注1) 全国と畜頭数は主要な41と畜場のと畜実績からの推計値  
 注2) 当月の価格及び頭数は速報値  
 注3) 牛肉の価格は、生体及び搬入の加重平均(全て瑕疵含む)  
 注4) 「-」は取引無し  
 注5) 卸売価格は、豚肉・牛肉は税込価格、鶏卵・鶏肉は税抜価格

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 4月6日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	4,957	2,917	-	-	-
		安値	2,485	2,486	-	-	-
		平均	3,024	2,612	-	-	-
		205頭 頭数	194	11	-	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	2,217	-	-
		1頭 頭数	-	-	1	-	-
	去 A	高値	3,008	2,592	-	-	-
		安値	2,425	2,498	-	-	-
		平均	2,644	2,554	2,438	-	-
		75頭 頭数	67	7	1	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	-頭 頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭 平均	-	-	-	-	-	
	雌 C -頭 平均	-	-	-	-	-	
	去 B -頭 平均	-	-	-	-	-	
	去 C -頭 平均	-	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	20頭 平均	-	1,760	1,744	1,660	-
		頭数	-	5	13	2	-
	雌 C	1頭 平均	-	-	1,687	-	-
		頭数	-	-	1	-	-
	去 B	16頭 平均	-	1,774	1,745	1,714	-
		頭数	-	3	11	2	-
去 C	2頭 平均	-	-	1,672	1,680	-	
頭数	-	-	1	1	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	407	789	-	(競り)	(相対)	
売買	402	723	162.0	-	17	62

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,522	2,049	1,678	1,691	-
	B	-	-	1,638	1,562	-
和 去	A	2,628	2,516	2,418	-	-
	B	-	-	1,688	1,090	-
乳 雌	B	-	-	-	1,156	1,152
	C	-	-	-	1,140	1,091
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,750	1,720	1,676	-
	C	-	1,685	1,680	-	-
交 去	B	1,823	1,793	1,743	1,693	-
	C	-	1,661	1,719	1,664	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	864	1,459	1,514	1,642	1,403
	安値	764	713	596	475	367
	平均	795	755	739	730	496
	頭数	( 4)	( 283)	( 215)	( 103)	( 118)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
搬入相対	高値	-	-	-	753	699
	安値	-	-	-	742	511
	平均	-	-	762	751	524
	頭数	( -)	( -)	( 1)	( 6)	( 10)

[大阪食肉卸売市場] 4月6日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ]は豚規格

	5[極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,767	2,526	2,432	-	-
(頭数)	( 11)	( 6)	( 2)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
和 去 A	2,834	2,538	-	-	-
(頭数)	( 17)	( 4)	( -)	( -)	( -)
B	2,615	2,492	-	-	-
(頭数)	( 1)	( 1)	( -)	( -)	( -)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,899	1,820	-	-
C	-	-	1,786	-	-
交雑去 B	1,999	1,904	1,810	1,757	-
C	-	1,857	-	1,706	-
豚	-	785	710	638	497

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	4月6日	4月3日	(4月累計)
豚	59,700	59,700	243,400
成牛計	4,520	4,220	16,850
和牛雌	1,000	1,140	4,020
和牛去勢	1,490	890	4,530
乳牛雌	420	870	2,710
乳牛去勢	450	280	1,590
交雑雌	590	510	2,120
交雑去	570	530	1,880

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 4月6日

東京	1,715 円	(前日 1,717 円)
大阪	1,799 円	(前日 1,753 円)

[豚・全農建値] 4月6日

上	中	取引頭数	市況
751 円	735 円	54 頭	強もちあい

と畜	牛 118 頭	豚 - 頭	牛概況	もちあい
売買	牛 95 頭	豚 118 頭	豚概況	反発

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 4月6日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	680 ( 680 )	- ( - )	5,684	-	もちあい
仙台 [中]	733 ( 719 )	663 ( 699 )	389	129	続伸
栃木 [地]	742 ( - )	701 ( - )	1,577	29	上伸
茨城 [地]	757 ( 736 )	727 ( 711 )	1,299	459	上伸
群馬 [地]	735 ( 749 )	611 ( 652 )	1,960	222	続落
さいたま [中]	751 ( 743 )	744 ( 738 )	213	211	続伸
東京 [中]	755 ( 757 )	739 ( 732 )	789	723	もちあい
横浜 [中]	749 ( 750 )	723 ( 712 )	640	644	もちあい
山梨 [地]	- ( - )	- ( - )	146	73	休市
浜松 [地]	- ( - )	- ( - )	-	-	競り休止
名古屋 [中]	759 ( 737 )	735 ( 701 )	759	167	続伸
京都 [中]	698 ( 730 )	687 ( 712 )	97	87	もちあい
大阪 [中]	785 ( 711 )	710 ( 698 )	-	77	反発
神戸 [中]	- ( 692 )	- ( 681 )	131	-	上場なし
岡山 [地]	710 ( 679 )	708 ( 674 )	208	312	反発
広島 [中]	718 ( 708 )	689 ( 669 )	274	43	上伸
福岡 [中]	710 ( 692 )	672 ( 667 )	544	202	上伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。京都の前日は4日。

[日本食肉流通センター] 3月30日～4月5日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

[食鳥正肉日経相場] 4月3日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇首都圏 総重量 1,116,841 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩コース	1,129	1,212	1,318	1,211	51,855
うで	753	799	855	802	83,256
コース	1,069	1,184	1,242	1,173	120,748
ばら	1,202	1,296	1,309	1,281	140,085
もも	756	810	854	808	98,686
ヒレ	1,134	1,134	1,215	1,144	10,091
セット	1,015	1,044	1,132	1,056	612,120

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	780	824	984	198
ムネ	450	494	661	169

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	719	802	1,050	3
ムネ	440	495	610	3

◇近畿圏 総重量 593,764 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩コース	1,218	1,361	1,398	1,348	52,779
うで	770	800	832	800	93,579
コース	1,145	1,234	1,290	1,231	78,261
ばら	1,291	1,350	1,404	1,337	112,099
もも	759	805	861	808	129,738
ヒレ	1,171	1,339	1,385	1,308	10,013
セット	1,031	1,076	1,183	1,082	117,295

[農水省統計情報部食鳥市況] 4月3日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,029	726	550	600	650
安値	790	440	290	360	350
平均	824	507	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

# 食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

### ■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

### ■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

### ◆食肉販売&経営関連

## 銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

## 銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

### ◆イベント

#### ■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



## 食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで  
お近くの食肉通信社まで

# 株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

## 週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

## 日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

## 月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

### ◆教材&レポート等

#### ■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男  
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

#### ■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

#### ■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

#### ■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

### ◆ステーショナリー

#### 食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します